

## 特集：ナノバイブテクノロジーとバイオフィールド

「バイオフィールドは、情報の伝達者、生物学的相互作用の調整者及び仲介者と見なす事が出来ます。そして、バイオフィールドは、生体内の情報伝達と密接に関連しており、生体調節に不可欠な情報を保持し、伝達します。**ナノバイブテクノロジー開発の唯一の目的は、様々な外的要因により不調和になったバイオフィールドを正常な状態に戻し、維持する事です**」

アート・アヴィレス (ナノバイブテクノロジー共同開発者)

### 一. バイオフィールドの概要

#### Q: バイオフィールドとは

A: 私たちの体は一見固体に見えますが、ただの固体ではなく振動で構成されています。体を形成する各器官も元は原子であり、分子、細胞などの微小な構成要素の集合体であり、それぞれから膨大な数の振動が発せられ、それらが結合し、重なり合うとき、私たちの体を取り巻くエネルギーのフィールドを形成しています。それがバイオフィールドです。

バイオフィールドは、身体の外側にあるエネルギー層やオーラともよばれますが、正確には身体の内側から外側にかけて身体と共に存在するエネルギー波動の総体として捉えられるものです。

#### Q: バイオフィールドが正常な状態に維持されると健康にどう影響するか

A: バイオフィールドが正常な状態に維持されると身体の調節機能が健全に維持され、健康に対して様々な好影響があるとされています。バイオフィールドが不調和になると、身体にストレスがかかり、免疫機能が低下する事は多くの学者が指摘しています。そのため、正常な状態に維持する事で身体の自然治癒力を高める事が出来、病気の予防、回復に効果があるとされています。また、精神的健康にも影響するとされ、バイオフィールドがバランスを保つ事でストレスや不安を軽減する効果があるとされています。

#### Q: バイオフィールドが外的要因で不調和になると、なぜ人体に悪影響を及ぼすのか

A: バイオフィールドが不調和な状態になると、身体の調節機能に影響を与え、様々な症状を引き起こすとされています。身体の調節機能は、免疫系、自律神経系、内分泌系

等の複雑なシステムによって制御されていますが、バイオフィールドが不調和になる事で調節機能が崩れ、免疫力、自然治癒力の低下、代謝異常を引き起こし、人体に様々な悪影響を与えます。

**Q: バイオフィールドが不調和になると免疫力にどのような影響があるか**

A: バイオフィールドと免疫力との関係に付いては、世界各国で研究が進んでいます。バイオフィールドが不調和になると、身体の調節機能の1つである免疫系に悪影響を与えることはよく知られております。不調和は、身体の細胞や組織の機能を低下させる事で細菌やウイルス等病原体に対する免疫力を低下させます。また、自己免疫疾患の発症に関与します。自己免疫疾患とは、身体の免疫系が異常反応を起こし、自身の細胞や組織を攻撃する病気です。バイオフィールドの不調和が、このような異常免疫反応を引き起こす可能性についての研究も進んでいます。

**Q: バイオフィールドを不調和にする外的要因とは**

A: バイオフィールドを不調和にする外的要因には、**感染症を含む様々な病原体の他に、現在最も深刻な問題となっている電磁波に加え薬品・食品添加物・農薬や殺虫剤・プラスチック等の化学物質、大気汚染・水質汚染等の環境汚染、偏った食生活、そして日常的なストレス**が挙げられます。

**Q: バイオフィールド研究の歴史は**

A: バイオフィールドの研究は比較的新しい分野であり、最初の科学研究は 1939 年にイェール大学生物電位研究所のサクソン博士によって行われたとされ、生物体が電磁気場を持っている事を最初に提唱しました。その後、1960 年代に入りロシア科学アカデミー（後ウクライナ科学アカデミー）のグルニッチ博士が人体が放出する微弱な電磁波や振動を研究する様になり、バイオフィールドの概念が発展するきっかけとなりました。1970 年代に入りアメリカの国立衛生研究所（NIH）がバイオフィールドの研究を始めた事で世界各国で急速に研究機関、研究者が増えました。

**Q: アメリカ国立衛生研究所（NIH）がバイオフィールドの研究を始めた理由**

A: 医学、健康に関し世界で最も権威のある NIH が 1970 年代からバイオフィールドの研究を始めた理由は2つあります。1つは、ヒーリング、マインドフルネス等の代替治療の需要が高まりつつあった事、2つは、伝統的な医学が特定の疾患に有効である一方、他の疾患には効果的でない場合がある事でした。

NIH は、バイオフィールドが健康や疾患に関連する可能性があるとしており、バイオフィールドが健康にどのような様に関与しているか、また、バイオフィールドを利用した新しい治療法や予防法の開発に力を入れています。

又、**バイオフィールドと云う名称を正式に採用したのも NIH** でした。NIH のバイオフィールドに関する研究プログラムは、バイオフィールドの科学的理解を深めるために重要な役割を果たしています。

#### Q: バイオフィールド研究の世界各国での現状は？

A. 近年世界各国でバイオフィールドの研究が盛んに行われています。

- アメリカ： アメリカが最も進んでいます。国立衛生研究所（NIH）を中心に、アリゾナ大学バイオフィールド研究センター、マサチューセッツ工科大学の CEHS、他にハーバード大学、スタンフォード大学、コロンビア大学、イリノイ大学等でバイオフィールド研究が行われています。
- ドイツ： バイオフィールド研究に取り組む多くの研究機関（ドイツバイオフィールド研究協会、Hans-Heinrich Reckeweg 研究所、他）や大学（ハノーファー医科大学、ハイデルベルグ大学他）があり、一部の人々からはドイツが最も進んでいると言われています。ドイツにはバイオレゾナンス法と呼ばれる代替医療があり、バイオフィールドを測定し、不調和を矯正する事で健康を改善する治療法があります。
- 日本： 国立精神・神経医療研究センター（脳神経疾患、精神疾患とバイオフィールドの関係）、国立循環器病センター（心臓の機能とバイオフィールドの関係）、国立成育医療研究センター（母体と胎児のバイオフィールドの関係）、等の機関、東北大学生命科学研究所（観測技術の開発）、医学系研究所（バイオフィールドと免疫系の研究）、東京大学生産技術研究所（計測技術の開発）、医科学研究所（バイオフィールドと脳波の研究）、京都大学大学院医学研究科（バイオフィールドと免疫系の研究）、九州大学理学研究院（バイオフィールドを利用したがん治療法の開発）等で、バイオフィールドの研究が行われています。
- その他： 中国の中国科学院物理研究所生物磁気場与磁生物学研究室（バイオフィールドの物理的性質や測定法、健康との関連の研究）、イギリスのボイドントラストバイオフィールド研究所（バイオフィールドの科学的研究）、ロシアの KTI 科学技術研究所、等でバイオフィールドの研究が行われています。また、インドではヨガ、アーユルヴェーダでバイオフィールドに関する考え方があり、バイオフィールド療法を公式に認めています。中国では伝統医学において中医学での「気」の概念があり、気の流れやバランスが健康に影響と与えるとしており、バイオフィールドの考え方に類似しているとも言えます。

Q: 医学、健康に関し世界で最も権威のアメリカ国立衛生研究所（NIH）がバイオフィールドの研究を開始してから 50 年経過し、世界各国での研究も盛んに行われているのに依然として科学的根拠が確立されていないとされる理由は？

第一は、バイオフィールドは、非常に微弱なエネルギー場であり、様々な現象を含む物理的・化学的要素が複雑に絡み合った現象であるため、単一の定義を与えるのが難しい事です。

第二は、バイオフィールドが観測されたり測定されたりする方法が、まだ確立されていない事です。世界各国で様々な観測・計測機器が開発されていますが、どの方法が最も適しているか議論が続いています。

第三は、バイオフィールドは、従来の物理学や生物学の枠組みだけでは説明できない現象であり、新しい科学的アプローチが必要となっています。

第四は、新たな科学的アプローチが必要なため、バイオフィールド研究は長期間に亘る研究となり、観測・測定機材も含め膨大な時間と経費が必要であり、又、対象が人体であるため倫理的な配慮も必要である事が原因の1つとなっています。

#### **Q. 2017年に国立衛生研究所（NIH）が主催したバイオフィールドに関するワークショップが当時大きな話題となったが**

A: このワークショップのタイトルは、「バイオフィールドの調査と研究のための方法的アプローチ」であり、世界各国から多くの専門家が集まりバイオフィールドの研究の現状や課題に付いて議論されました。具体的なテーマは、多岐に亘りました。

- バイオフィールドの定義：バイオフィールドをどの様に定義し、測定するかの議論
- バイオフィールドの測定：バイオフィールドをどの様に測定するのが効果的かに付いての議論で、様々な方法が提案された。
- バイオフィールドの生理学的影響：様々な研究成果が発表された。
- バイオフィールドの臨床応用：バイオフィールドが臨床医療にどう応用されるかに付き様々な研究成果が発表された。

#### **一. 不調和になったバイオフィールドを正常な状態に戻し、維持出来る ナノバイブテクノロジー開発の経緯**

#### **Q: ナノバイブテクノロジーを開発したアート&ロバート・アヴィレス兄弟がバイオフィールドに興味を持った経緯は**

A: バイオリニストであり物理学者でもあった弟ロバートは、以前より様々な疾患に対する音楽療法を研究していました。1990年初頭になりアメリカ国立衛生研究所がバイオフィールドの研究をしている事を知り、バイオフィールドが人体の健康に深く関与しており、バイオフィールドの不調和が人体に悪影響を与えている事も知りました。アヴィレス兄弟は、自身の音楽的、物理学的知識で不調和になったバイオフィールドを正常な状態に調整、維持する方法を見出したいと考えバイオフィールドの研究・開発に取り組む事になり、約10年の研究・開発でナノバイブテクノロジーを完成しました。

### Q: アヴィレス兄弟が興味を持った音楽療法とは

A. 音楽療法の歴史は非常に古く、古代ギリシア・エジプト、中国、インドでは、音楽が病気の治療、予防、健康維持に使われて来ました。現代の音楽療法は、第二次大戦前後にアメリカ、ドイツ、イギリスで始まったものです。

アメリカでは、1940年代退役軍人のリハビリで使われ、1960年代には医療の一部として認知され、音楽療法士の資格認定も始まっています。

ドイツでは、音楽療法士の養成機関が整備されており、国家資格として認定されており、保険適用内で音楽療法が行われています。

現在、音楽療法は様々な分野で展開され、がん治療、アルツハイマー病、自閉症スペクトラム障害、心理療法などにも応用される様になりました。

### Q: アヴィレス兄弟がナノバイブテクノロジー開発の基礎としたエントレインメントとは

A: 物理学では、エントレインメントを2つの振動体が調和して振動する様に互いの位相を合わせようとする事として説明しています。生物学や医学の分野では、エントレインメントの概念が広く用いられており、生体内のリズムの同調現象を表すのに用いられています。アヴィレス兄弟は、エントレインメントの理論を研究し、特定の周波数やリズムに合わせバイオフィールドを調整し、健康維持や治療に役立てることが出来る技術（ナノバイブテクノロジー）の開発を行いました。

### Q: アヴィレス兄弟はどの様にナノバイブテクノロジーを開発したか

A. 弟ロバートがナノバイブテクノロジーを開発出来たのは、幼少から培ってきた音楽の知識と学生時代から蓄えられてきた物理学と生物学の知識の融合でした。ロバートは、バイオフィールドの波長と類似する新たなインフォメーションを作り、不調和になったバイオフィールドを正常な状態に戻す技術の開発に取り組みました。

**第一段階:** バイオフィールドの振動を、分子幾何学を利用して数学的比率に変換した。

**第二段階:** 完成した比率は12進数の数式に変換され、12トーンのクロマチックスケール（12の異なる音を1オクターブ内に均等に分割した音階）に重ね合わされました。

**第三段階:** それにより、数学的比率を表す音程と音楽のコード構造を構成する事が出来ました。結果として得られた音楽式は、ソニックスクリプト（生物が持つ独自の周波数を調べ、その周波数と一致する音や音楽を選んで治療に利用する技術）と呼ばれます。

**第四段階:** 完成したソニックスクリプトには、リズム、メロディー、ハーモニー等の音楽的性質と、極性や原子構造等の普遍的性質が組み込まれていました。その後数年に亘る開発過程で、バイオフィールドを同調させるには様々なソニックスクリプトを重ね合わせる事が必要である事が分かり、補完的なテンポマップ、リズムパターン、基本的なキートンが組み込まれた数種のソニックスクリプトを完成させました。それらソニ

ックスクリプトを重ね合わせて完成したのが「ナノバイブインフォメーション」でした。

**第五段階:**世界的に有名な7弦エレクトリックバイオリニストでもあるロバートが作曲及び演奏した楽曲のCDにナノバイブインフォメーションを組み込みました。

**第六段階:**CDを再生したり視聴出来ない場合がありますが、バイオフィールドの調和と保護の必要性は絶え間なくあります。そのため、より便利でポータブルなナノバイブセルを開発しました。特殊な技術を利用して、プログラムされパターン化されたピットと溝の配列が、アルミニウムポリカーボネート素材の小さなディスクにレーザー暗号化されたのが、ナノバイブセルであり、これでナノバイブテクノロジーは完成しました。

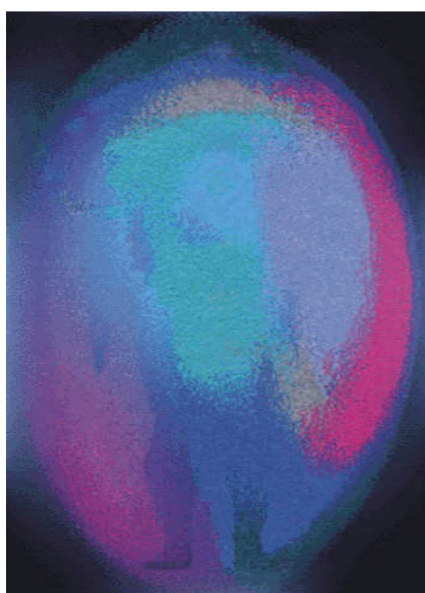
**Q: ナノバイブテクノロジーが、不調和になったバイオフィールドを正常な状態に戻す事が出来る事を証明した検証について**

A: アヴィレス兄弟は多くの科学者の協力を得て、ナノバイブテクノロジーの効果について様々な検証を行いました。その中でも重要であったのが、バイオフィールドを可視化出来る測定装置を用いて不調和になったバイオフィールドがナノバイブ製品を装着した場合どの様に変化するかの検証でした。

この検証を行ったのが、長年に亘り心理学と神経科学の分野でバイオフィールドの研究を行っていたアメリカのハロルド・コーバー博士でした。コーバー博士は、アメリカITEM社が開発したリソナント・フリクエンシー・イメージング (RFI) と云う生体電磁波の共鳴周波数を測定する事で、バイオフィールドの状態を可視化する事が出来るカメラを用いて測定しました。

### 共振周波数画像テスト

電磁波、化学物質等の影響で歪んだバイオフィールド



ナノバイブ製品を装着し、完全に調和とバランスが取れたバイオフィールド



測定者： ハロルド・コーバー博士

測定機器： ITEM 社製 Resonant Frequency Imaging

測定方法： 電気製品（パソコン、テーブルランプ）と携帯端末（スマホ、タブレット）が被験者から 1 メートル離れた距離に設置され、基準画像が記録された（左側の画像）。次にナノバイブ製品を被験者に身に付けてもらい再度画像を記録した（右側の画像）。

**測定後、ハロルド・コーバー博士は「結果は、議論の余地もなく即時且つ劇的だった。バイオフィールドは調和され、ナノバイブの影響が存在している限り調和された状態は維持された。更に、共振周波数画像は、左右の脳内エネルギー活動のバランスが取れた事を示し、そして、ストレスレベルに測定可能な著しい減少が見られた」と述べました。**

**この検証結果は、ナノバイブテクノロジーが不調和になったバイオフィールドを正常な状態に戻し、維持する事を可能にした技術である事を証明しています。**

インテンションエネルギーのナノバイブ各種製品で

ナノバイブテクノロジーを体験して下さい

**Q. ナノバイブテクノロジーは環境問題との共存を目指すとの事です**

A. 私たちの社会は、過去 100 年以上にわたり発展して来た様々な素晴らしい科学技術に依存して生きています。科学技術の進歩は、食生活の変化、各種医薬品の開発、居住環境の改善、等をもたらし、日本に代表される様に人類の長寿化が進んでいるのは紛れもない事実です。一方、医学が飛躍的に進歩しているにも関わらず病人の数は増加し続けています。なぜでしょうか？最大の要因は、私たちを取り巻く「環境問題」にあると言えます。

「電磁波は 21 世紀最大の公害」、「ストレスは 21 世紀の流行病」と言われています。近年うつ病、自律神経失調症、ストレスを含めた現代病が急増しています。世界各国の多くの研究機関、医師がその原因として化学物質、電磁波、大気汚染を上げ警鐘を鳴らしています。しかし、多くの研究結果は「因果関係が明確でない」との理由で人体への影響を否定しています。一方で、化学物質、電磁波の人体に対する影響は全くないと云う研究結果はありません。

利便性を享受している我々は、その生活スタイルを変えるのはほぼ不可能な状況です。このような状況でこれらのリスクを回避するには欧米各国の様に「予防原則」に立つことをお勧めします。予防原則とは、人の命、健康及び自然環境に対して大きな影響を及ぼす対象に付い

て、たとえそのリスクの科学的証明が不十分であっても個人個人が何らかの防護対策を施すべき、という考え方です。

**Q: 2019 年末中国で発生した新型コロナウイルス感染症は、世界的に猛威をふるい人類を危機的状況に陥れたが**

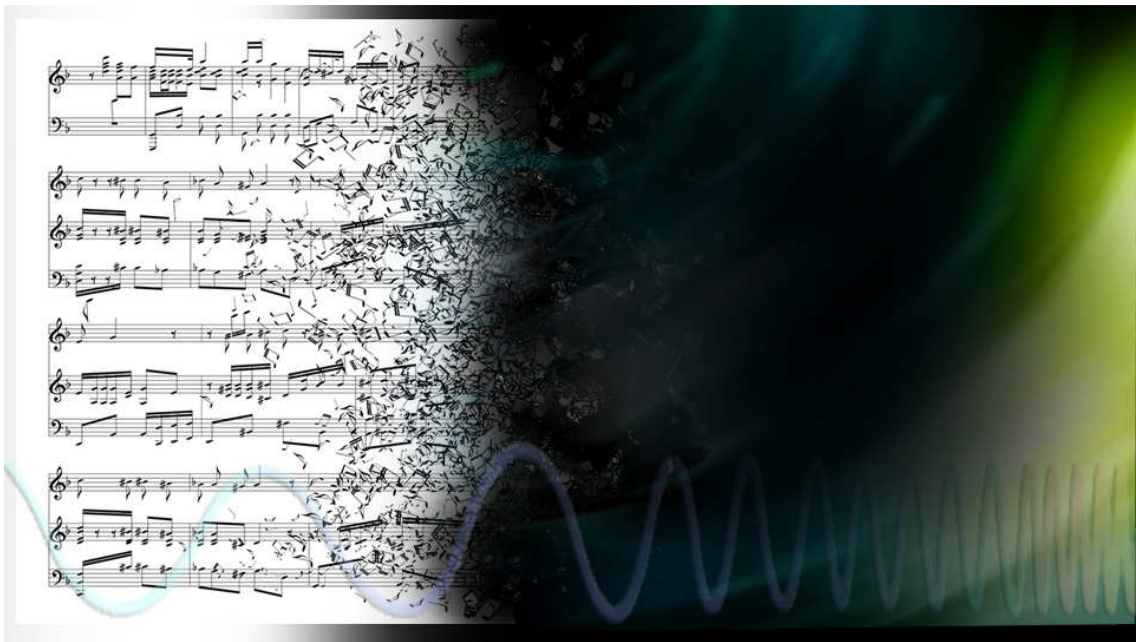
A: 我々は、コロナ禍で感染症の恐ろしさを経験しました。コロナウイルスは、呼吸器系だけでなく人体の様々な調整機能に大きな影響を与えます。その1つが、人体のバイオフィールドを不調和な状態にする要因になる事です。コロナウイルス等感染症ウイルスに感染するかどうか大きく影響するのが人体の免疫力です。バイオフィールドが不調和になると、最も影響を受けるのが免疫力と言われています。コロナウイルスに感染するメカニズムは複雑であり、ワクチン接種も予防法の1つですが、バイオフィールドを正常な状態に維持し、免疫力を維持する事も予防法の1つです。

**インテンションエネルギーのナノバイブテクノロジーは、利便性を享受している日常生活を変更することなく環境問題との共存を目指し、予防原則に立つ皆様のお役に立つために開発されました。**

**感染症、電磁波問題等々我々は不確実な時代に生きております。この様な時代に健康を維持する方法は様々です。インテンションエネルギーは、人体のバイオフィールドを正常な状態に維持する事が重要であると考えています。それを可能にするのがナノバイブテクノロジーです。**

注：ナノバイブ製品は、病気治癒、予防を目的に開発された製品ではなく、動植物独自の生体電磁場（バイオフィールド）を正常な状態に維持するための製品です。多岐に亘る検証からバイオフィールドを正常な状態に再調整、維持することで様々な健康障害に効果があることは実証されております。しかし、バイオフィールドそのものに個人差があり、その効果は個人個人によって異なっております。





インテンションエネルギー各種製品  
を通じ、ナノバイブテクノロジー  
をぜひ体感して下さい。

問合せ先：